

特色ある取組み

昨年度は、コロナ禍で実施できなかった取組みもありました。

《 体験活動を通じた主体的な学びの実践 》

様々な体験を通して、自分や自分の身の回りの人や自然、社会に興味関心を持ち、気付いたことを表現したり、その気付きの質を高めたりして学んでいきます。「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちをもたせ、主体的に学習に向かう態度を育てています。



校区たんけん

…自分たちの町のもっと知りたいところを自分たちで調べ様々なことに気付きます。



あさがおの育ち

…朝、「あさがおちゃんからの手紙」が届きます。子どもたちは指導者に指示されたことをするのではなく、その手紙を読んで、あさがおの様子を観察し、どのようなお世話が必要か一生懸命考えます。

晴明丘南小学校の“ゆるきゃら”
「みなみん」です。
いろいろなところに登場します。
卒業生が小学生の時に、総合的な
学習の中で考えてくれました。



みなみん

自ら課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てています。主体的・創造的・協働的に取り組み、自己の生き方を考えることをねらいとしています。



運動場での田植え



高齢者疑似体験



自然体験学習



高齢者施設との
オンライン交流



広島への修学旅行



車いす体験



鉢伏高原への林間学習



中央卸売市場見学



被爆体験聞き取り

《 地域の教育力を活かした実践 》

晴寿会との「昔遊び」



阿部野神社の
「太鼓体験」



地域のボランティアの
方々との「町しらべ」



コーラスクラブ
「みなみの風」との
「手話歌交流」



生涯学習ルームとの
「ステンシル」

